

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3990100210
法人名	医療法人 仁照会
事業所名	グループホーム ほっと館
訪問調査日	平成21年2月24日
評価確定日	平成21年5月1日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について

外部評価は30項目です。
「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]
ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]
確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]
「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
家 族 = 家族に限定しています。
運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3990100210
法人名	医療法人 仁照会
事業所名	グループホーム ほっと館
所在地 (電話番号)	高知市春野町秋山1599-1 (電話) 088-894-6880

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成21年2月24日	評価確定日	平成21年5月1日

【情報提供票より】(21年2月6日事業所記入)

開設年月日	平成 16 年 12 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 4人, 非常勤 13 人, 常勤換算 13.3 人	

(2) 建物概要

建物形態	併設 <input checked="" type="radio"/> 単独	<input checked="" type="radio"/> 新築 / 改築
建物構造	木造り	
	2 階建ての	1 階 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000~40,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円	
敷金	有() 円 <input checked="" type="radio"/> 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	<input checked="" type="radio"/> 有 (100,000 円)	有りの場合 償却の有無	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	350 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり		1,000 円	

(4) 利用者の概要(2月6日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	2 名	要介護2	5 名		
要介護3	11 名	要介護4	0 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84.7 歳	最低	74 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	はるの森澤クリニック さくら病院 ポラリスクリニック 山崎歯科
---------	---------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

田園地帯で人家は少ないが、のびのびと生活することのできる原風景の環境がある。ホームは、地域に理解され、溶け込み利用者、職員ともども明るく、生活感がある。外出に興味を置いた支援をしており、ストレスの解消や地域住民と顔なじみになっている。また、共有スペースが手狭なことも利用者同士の助け合いや人間関係の構築に繋がっている。職員も、利用者との会話の中でふと漏らす言葉の端々に関心を寄せ、利用者の思いに心を傾け、向き合い、個性のある対応ができています。居室も個性的で利用者の顔の見えるものになっている。利用者が「主人公」でいられる事業所であり続けるために、地域の中でその人らしく暮らすことができるよう支援を継続して提供されることを期待したい。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>12項目の改善課題のうち、改善できるものについて計画書を作成し改善に取り組んでいる。ただ、運営推進会議や職場会において検討されているが、改善の経過のわかるものとはなっていない。改善の経過を記録し、サービスの質の確保や向上について確認、検証することが望まれる。</p>
	②	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>各職員が自己評価を行い、その後職員間で検討し、管理者が取りまとめている。</p>
重点項目	③	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>事業所から取り組みの内容や改善点の報告をし、メンバーから質問、意見が出始め、双方向的な会議となりつつある。</p>
重点項目	④	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族の来訪は良くあり、運営推進会議への参加もあるが、家族会は組織されていない。「苦情は、事業所の宝」であり、苦情や意見が言える場の提供は必要である。家族は事業所に意見、要望を言いづらい面があるので、家族会をつくる働きかけを期待したい。</p>
重点項目	⑤	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会にも入会し、回覧版にホームの行事も載るなど地域の中の事業所として定着しつつある。地域の秋祭り等の行事に積極的に参加し、ホームのフリーマーケットや納涼祭に近隣住民の参加もある。また、利用者が近隣の家に行っても好意的に対応してくれるなど、利用者が地域の中で理解され、地域住民の一人として認められている。</p>

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。 利用者が、地域の住民としてあたり前の生活ができるよう、「地域社会へ生活の場を広げます」という理念がある。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 月1回の職場会や申し送り時に理念を確認し、意識の統一を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 利用者を「主人公」として、一人ひとりを尊重し取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 町内会に参加し、ホームの行事等も回覧版に載るなど、地域の中の事業所として定着しつつある。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 地域の秋祭り等の行事に積極的に参加し、また、ホームが行うフリーマーケット、納涼祭に近隣住民の参加があり、地域との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 管理者が評価の意義等を説明し、各職員が自己評価を行い、その後、職員間で検討し管理者が取りまとめている。 <input type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 改善計画を作成し、改善できるものは、改善に努めたが、改善に至る経過が明確なものとはなっていない。	○	改善計画書を作成し取り組んでいるが、改善の経過のわかる計画書になっていない。サービスの質の確保や向上について、確認、検証できる計画書を作成することが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。</p> <p>事業所から取り組みの内容や改善等について報告し、メンバーからも質問、意見等が出始め双方向的な会議となりつつある。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。</p> <p>課題について運営推進会議に報告し、改善に取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。</p> <p>地域包括支援センターの研修会に参加したり、利用者のことで相談等に行くなど交流を図っている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。</p> <p>家族の来訪時に利用者の暮らしぶりなど、家族が安心できるよう報告している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。</p> <p>毎月ホーム便りを発行しており、担当者が日頃の暮らしぶりや近況を添えている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。</p> <p>緊急を要するものについては電話で報告し、それ以外は家族の来訪時に報告している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>金銭について用途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。</p> <p>金銭管理は行わず立て替え払いをしている。ホームで購入したものはレシート等に担当した職員がサインをし利用料の請求と併せて送付している。職員のサポートのもと自己管理をしている利用者も1人いる。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
	8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p><input type="checkbox"/>家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。</p> <p>家族の来訪は良くあるが、家族の意向もあって家族会はできていない。運営推進会議には数人の家族が出席している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上を目指す取り組みをしている。</p>	○	<p>家族は、事業所に意見等が言いづらいことを理解し、家族が安心して要望や苦情が言える環境の構築が重要であり、家族会設置に向けての働きかけを期待したい。また、介護相談員や第三者委員の導入も検討されたい。</p>
	9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。</p> <p>夜勤者が1人のためユニット間の異動は行っているが、開設以来勤務している職員もあり、利用者へのダメージが最小限になるよう配慮している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。</p> <p>引き継ぎは7～10日間位とっており、ケアが継続的に提供できるように配慮している。</p>		
5. 人材の育成と支援						
	10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。</p> <p>管理者から研修を周知し、採用形態に関係なく参加ができる仕組みであるが、パート職員の参加について、さらに働きかけていくことを期待したい。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。</p> <p>研修報告書と資料等で月1回行われる職場会で伝達講習を行い、研修内容の共有に努めている。</p>		
	11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。</p> <p>県内の宅老所・グループホーム協議会に入会し、情報交換、研修等を通じてサービスの質の向上を目指している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。</p> <p>母体法人が経営するグループホームや、地域にあるグループホーム等との交流、連携に努めている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。</p> <p>ホーム独自のフェイスシートやアセスメントシートで生活歴、病歴等を把握し、家族の意向等も十分確認している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p>入居申し込み時にお茶を一緒に飲んだり、カラオケを楽しむなどホームに馴染むことができるよう配慮している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。</p> <p>管理者と介護支援専門員2名が家庭訪問等で面接している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、支援する側、あらされる側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>縫物や、畑の畝の作り方、ふき、タケノコ等の調理の方法を習うなど、協働しながら日常生活を支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p> <p>利用者がふと漏らす言葉等に関心を寄せ、その思いの把握に努め、寄り添い、利用者と職員との関係ではなく人と人とのつながりを重視し、一緒に過ごす場面づくりに努めている。</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>生活背景等の情報の収集は十分できおり、また、日常の暮らしの中での言動に細心の注意を払い、その希望や意向の把握に努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意志疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>家族の来訪時に収集したり、利用者のふとした表情等からその思いを推測するなど、把握に努めている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 があり、本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 利用者の話す言葉の端々から意見や要望等を推測し、家族からは来訪時に要望等を聴取しプランに反映している。個別性があり、サービス内容も具体性がある実践可能なプランとなっている。 <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 変化のない場合は3か月毎に担当者がモニタリングを行い、カンファレンスは利用者も含め月1回行っている。その中で、気づきや意見を出し合っている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 短期目標3か月、長期目標6か月で設定し、それぞれ見直している。 <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 退院、転倒や発熱でADLに変化があった場合は、変化に応じて個別の期間を設定している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。 母体法人のクリニックの週1回の往診や訪問看護により、健康面で安心して暮らせる仕組みがある。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。 かかりつけ医の受診は家族の対応としており、家族が都合の悪い時は職員が通院に付き添うなど柔軟に対応している。自宅周辺に行くなど外出は細やかに行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。</p> <p>入居前のかかりつけ医に継続して受診できる仕組みはあり、支援も行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。</p> <p>希望する医療機関の受診の自由は確保されている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診結果に関する情報の共有ができています。</p> <p>職員・家族が対応した場合も共に業務日誌に記載し、職員全員で確認している。</p>		
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。</p> <p>看取りの指針は作成しており、本人、家族への説明と意向を確認し、同意書をもっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した看取りが迎えられるように取り組んでいる。</p> <p>母体法人のクリニックの医師を中心に対応方針の共有、連携が図られており、本人、家族の意向に沿って、安心して納得した看取りができる体制になっている。今までに本人、家族の意向に添い4人の方の看取りを行っている。</p>		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目ざたずりげない言葉や対応に配慮している。</p> <p>特に排泄介助においては、他の利用者にわからないように、耳元で声がけしたり、トイレのドアは必ず閉めるなど注意を払っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>他の家族や外来者に対して、職員が利用者やプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。</p> <p>採用時に母体法人より説明があり、個人情報の秘密保持に関する書類に捺印している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。 利用者一人ひとりが、今日どのように過ごしたいか会話等から見出し、外出や歌唱、読書など、それぞれの思いを充足するため柔軟に対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 業務を優先することなく、利用者のペースに合わせて向き合っている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 献立は利用者の希望を採り入れ、利用者の持てる力を発揮できるよう、下ごしらえ、盛り付け等の場面づくりを行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 母体法人の方針で職員はお弁当を持参しているが、カレーなどの献立の時は同じものを食べるようにしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 夜間入浴は行っていないが、利用者の希望にあわせた時間に入浴できる職員体制にしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 入浴拒否があると、声かけする職員を代えたり、時間をおいて声かけするなど、対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 入居時の情報や普段の暮らしの中で、畑仕事や調理など、得意分野や興味を示すものに積極的な関わりを持ち、持てる能力が発揮できるよう支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 生活歴や日常会話から得意分野等を見出し、興味を示すことに役割や楽しみごとになり得るか見極め、それらに継続して働きかけをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25	61	事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 外出には特に配慮し、行きつけの美容院や自宅を見に行くなどの支援をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 車椅子の利用者も数名いるが、天気が良ければ、広い庭やホームの周囲を毎日のように散歩している。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 食材の買い物、近郊へのドライブ、梅、桜、あじさい、コスモス見学など季節ごとにお弁当を持って出かけている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 外出傾向のある利用者は把握しており、後ろからそとついて行き安全に帰宅できるように支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 人家は少ないが、近隣の方が運営推進会議のメンバーであったり、行事には積極的に参加するなど利用者とも顔なじみとなっており、一人で出かけている利用者があると声をかけてくれたり、近隣の家に行っても好意的に対応してくれている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的実施している。 本年度は、民生委員、近隣住民の人たちの参加、協力のもと防火訓練を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 公的な避難場所は遠いので、ホームの広い庭が避難場所として職員一同に周知されている。津波が来れば2階に避難し、地震に備え高い家具は置かないなどホーム内での対策はできている。備蓄も準備できている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 食事、水分摂取量はチェックしている。特に水分摂取は、1日1500ccを目安に支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 好みの食べ物、飲み物、苦手な食べ物は把握しているが、最近、集団生活のためか好き嫌いが少なくなってきた。 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 2か月に1度、母体法人の栄養士のチェックを受けている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 共有空間は手狭であるが、利用者同士の助け合いや人間関係の構築に繋がっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気壊していない。 利用者の絵画等の飾り付けも生活空間づくりに欠かせないものであるが、貼り方や枚数等について、家族等の意見も聞きながら整理されることを期待したい。 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 ひな飾りや水仙など季節の生け花で季節感に配慮している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。 整然とした居室、生活感のあふれた居室、使い慣れた家具に囲まれた居室等、それぞれ个性的で利用者の顔の見える居室となっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。		